

令和8年1月8日
公益社団法人 米穀安定供給確保支援機構

米取引関係者の判断に関する調査結果 (令和7年12月分)

公益社団法人米穀安定供給確保支援機構（米穀機構）は、米の需給動向や価格水準などの取引状況を把握することを目的に「米取引関係者の判断に関する調査」を毎月実施しています。

令和7年12月分の調査概要については次のとおりです。

【調査概要】

米取引関係者に対して、需給動向や価格水準などの取引動向に関するアンケートを実施し、その結果をD I※として算出したものです（詳細は6ページ参照）。

令和7年12月分の主な調査結果

主食用米の需給動向のD I値は、前月と比べて現状判断は「大幅に減少」、見通し判断は「減少」となりました。

主食用米の価格水準のD I値は、前月と比べて現状判断は「やや減少」、見通し判断は「減少」となりました。

■主食用米の需給動向

- ア. 現状判断D I 27 (前月からの増減 -7)
- イ. 見通し判断D I 26 (前月からの増減 -5)

■主食用米の価格水準

- ア. 現状判断D I 88 (前月からの増減 -3)
- イ. 見通し判断D I 27 (前月からの増減 -5)

※D I (Diffusion Index)

アンケート回答者の判断や方向性を指数化したものです。

米取引関係者の判断(令和7年12月)

1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断(全体)

①主食用米の需給動向

(ア)現状判断DI

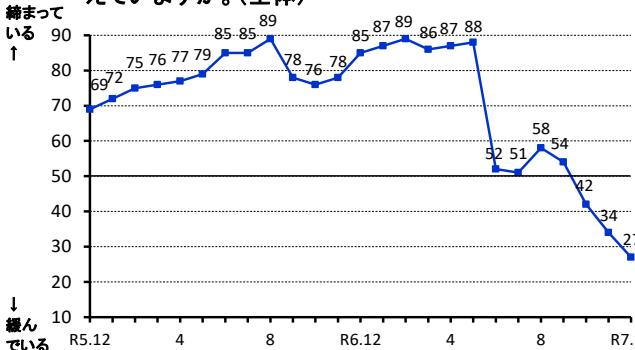
前月からの増減 -7 (今月の数値 27)

(イ)見通し判断DI (向こう3ヶ月)

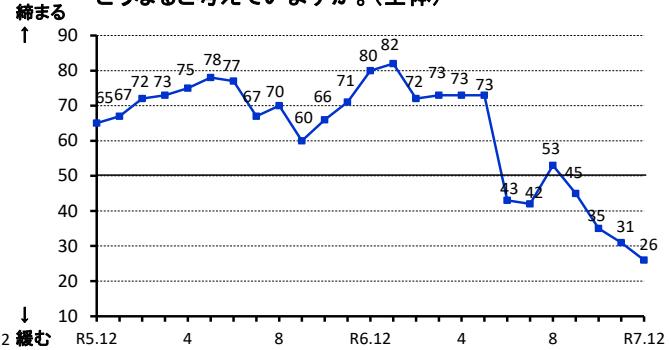
前月からの増減 -5 (今月の数値 26)

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

①-ア 国内の主食用米の”現在の需給動向”について、どう考えていますか。(全体)



①-イ 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の需給動向”について、どうなると考えていますか。(全体)



②主食用米の米価水準

(ア)現状判断DI

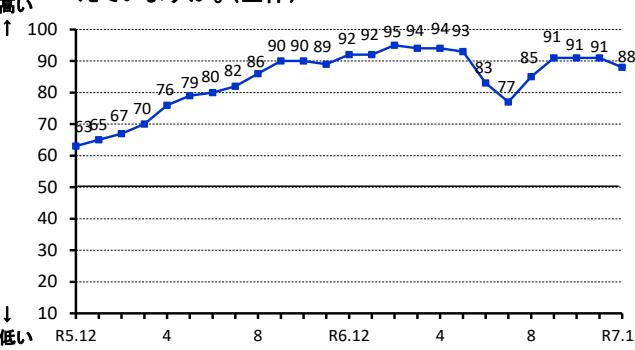
前月からの増減 -3 (今月の数値 88)

(イ)見通し判断DI (向こう3ヶ月)

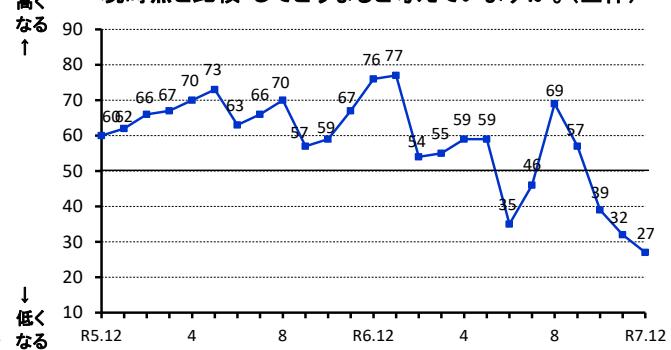
前月からの増減 -5 (今月の数値 27)

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなつた傾向を示します。

②-ア 国内の主食用米の”現在の米価水準”について、どう考えていますか。(全体)



②-イ 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の米価水準”について、”現時点と比較”してどうなると考えていますか。(全体)



③ 取引関係者が①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
R5.12	12%	23%	3%	46%	12%	4%	0%
R6.1	9%	28%	2%	46%	10%	3%	2%
R6.2	9%	27%	1%	51%	8%	4%	0%
R6.3	7%	29%	0%	53%	8%	2%	1%
R6.4	3%	29%	2%	52%	9%	3%	1%
R6.5	6%	30%	1%	55%	4%	2%	1%
R6.6	5%	34%	1%	49%	7%	3%	1%
R6.7	6%	35%	3%	46%	7%	3%	1%
R6.8	2%	43%	2%	45%	5%	1%	1%
R6.9	6%	24%	1%	52%	11%	3%	2%
R6.10	7%	22%	2%	54%	10%	3%	2%
R6.11	10%	17%	2%	53%	12%	6%	1%

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
R6.12	3%	26%	2%	57%	7%	3%	1%
R7.1	1%	25%	7%	54%	7%	4%	3%
R7.2	0%	24%	28%	40%	4%	3%	1%
R7.3	3%	32%	17%	42%	2%	2%	1%
R7.4	1%	31%	19%	42%	4%	3%	1%
R7.5	1%	29%	21%	41%	5%	4%	0%
R7.6	1%	18%	49%	26%	5%	1%	1%
R7.7	5%	24%	21%	42%	4%	2%	2%
R7.8	18%	15%	5%	50%	5%	3%	5%
R7.9	11%	23%	4%	51%	5%	4%	2%
R7.10	5%	32%	6%	40%	13%	3%	0%
R7.11	3%	41%	3%	36%	13%	4%	0%
R7.12	1%	44%	4%	34%	12%	5%	2%

2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、
反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなつた傾向を示します。

(ア) 今月の販売数量に関する現状判断DI

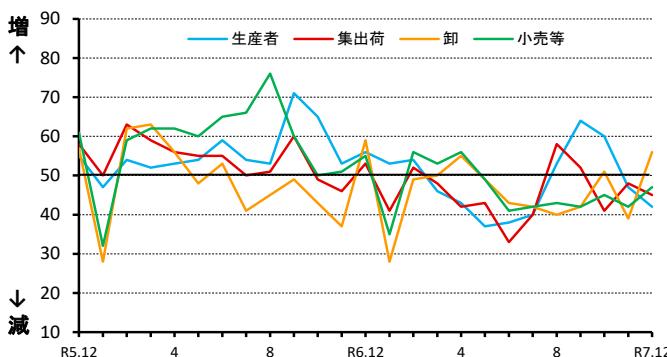
a. 先月との比較

生産者	前月からの増減	-5	(今月の数値 42)
集出荷	前月からの増減	-3	(今月の数値 45)
卸	前月からの増減	+17	(今月の数値 56)
小売等	前月からの増減	+5	(今月の数値 47)

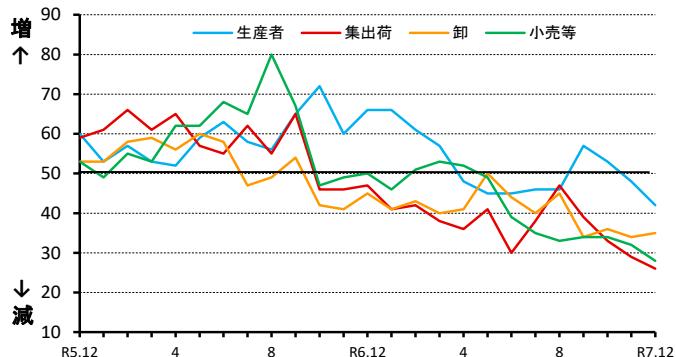
b. 前年同月との比較

生産者	前月からの増減	-6	(今月の数値 42)
集出荷	前月からの増減	-3	(今月の数値 26)
卸	前月からの増減	+1	(今月の数値 35)
小売等	前月からの増減	-4	(今月の数値 28)

①-ア-a 貴社の“今月”的主食用米の”販売数量”について、“先月と比較”するといかがですか。



①-ア-b 貴社の“今月”的主食用米の”販売数量”について、“前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の販売数量に関する見通しDI

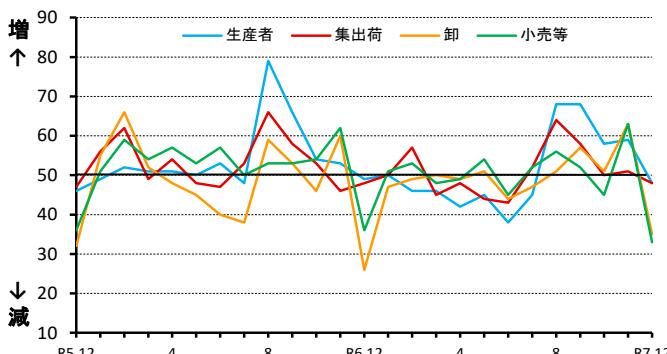
a. 今月との比較

生産者	前月からの増減	-11	(今月の数値 48)
集出荷	前月からの増減	-3	(今月の数値 48)
卸	前月からの増減	-28	(今月の数値 35)
小売等	前月からの増減	-30	(今月の数値 33)

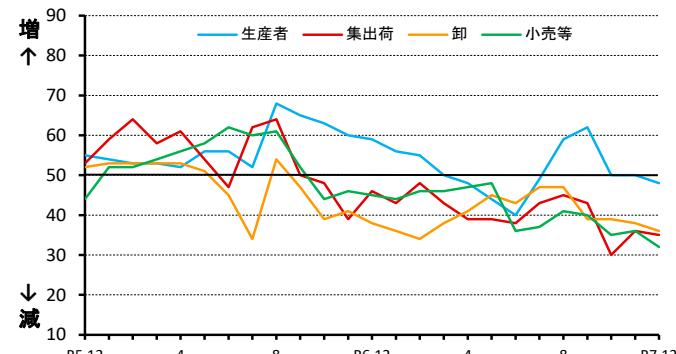
b. 前年同月との比較

生産者	前月からの増減	-2	(今月の数値 48)
集出荷	前月からの増減	-1	(今月の数値 35)
卸	前月からの増減	-2	(今月の数値 36)
小売等	前月からの増減	-4	(今月の数値 32)

①-イ-a 貴社の“来月”的主食用米の”販売数量”について、“今月と比較”はどうなると考えていますか。



①-イ-b 貴社の“来月”的主食用米の”販売数量”について、“前年同月と比較”はどうなると考えていますか。



②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、
反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなつた傾向を示します。

(ア) 今月の価格に関する現状判断DI

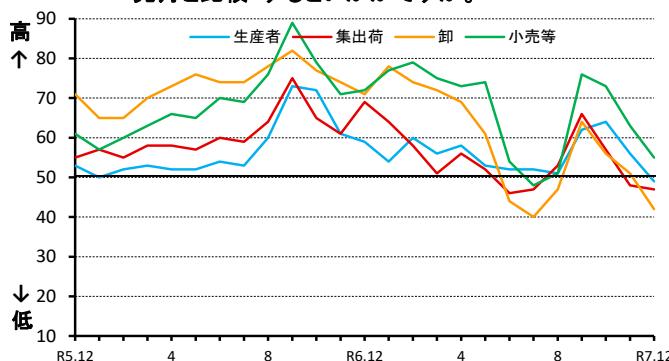
a. 先月との比較

生産者	前月からの増減	-7	(今月の数値 49)
集出荷	前月からの増減	-1	(今月の数値 47)
卸	前月からの増減	-9	(今月の数値 42)
小売等	前月からの増減	-8	(今月の数値 55)

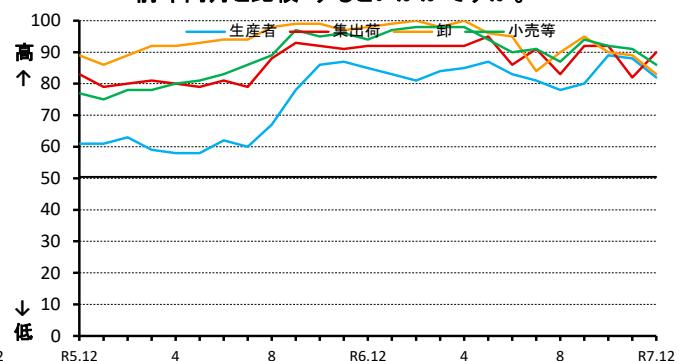
b. 前年同月との比較

生産者	前月からの増減	-6	(今月の数値 82)
集出荷	前月からの増減	+8	(今月の数値 90)
卸	前月からの増減	-6	(今月の数値 83)
小売等	前月からの増減	-5	(今月の数値 86)

②-ア-a 貴社の“今月”的主食用米の“価格”について、“先月と比較”するといかがですか。



②-ア-b 貴社の“今月”的主食用米の“価格”について、“前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の価格に関する見通しDI

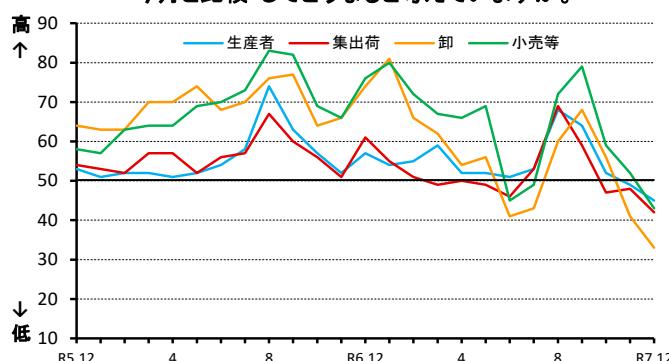
a. 今月との比較

生産者	前月からの増減	-4	(今月の数値 45)
集出荷	前月からの増減	-6	(今月の数値 42)
卸	前月からの増減	-8	(今月の数値 33)
小売等	前月からの増減	-9	(今月の数値 43)

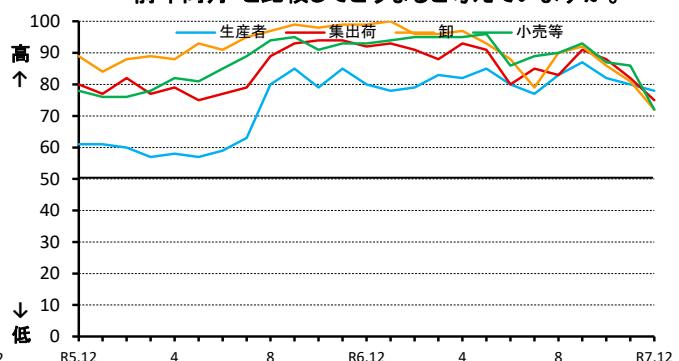
b. 前年同月との比較

生産者	前月からの増減	-2	(今月の数値 78)
集出荷	前月からの増減	-7	(今月の数値 75)
卸	前月からの増減	-9	(今月の数値 72)
小売等	前月からの増減	-14	(今月の数値 72)

②-イ-a 貴社の“来月”的主食用米の“価格”について、“今月と比較”してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の“来月”的主食用米の“価格”について、“前年同月”と比較してどうなると考えていますか。



③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来)多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来)少なくなる」という見方が前月より強くなつた傾向を示します。

(ア) 今月の在庫量に関する現状判断DI

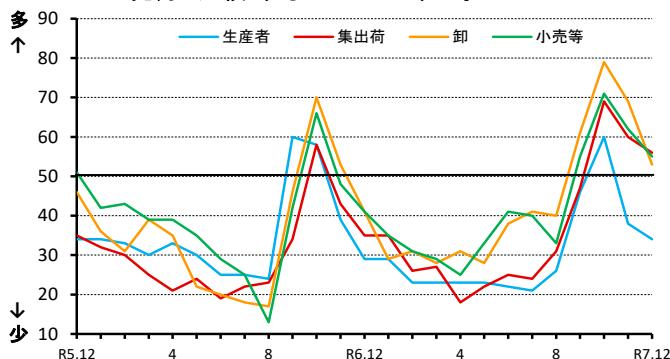
a. 先月との比較

生産者	前月からの増減	-4	(今月の数値 34)
集出荷	前月からの増減	-4	(今月の数値 56)
卸	前月からの増減	-16	(今月の数値 53)
小売等	前月からの増減	-7	(今月の数値 55)

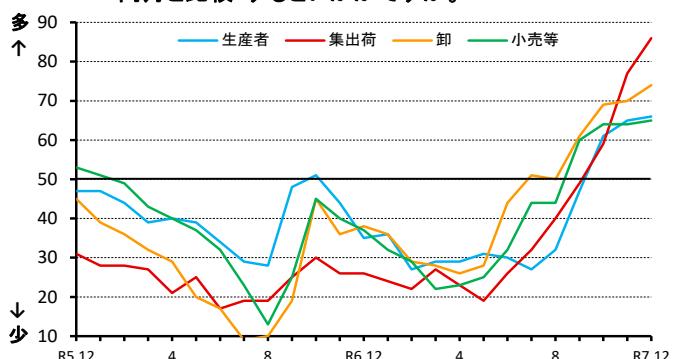
b. 前年同月との比較

生産者	前月からの増減	+1	(今月の数値 66)
集出荷	前月からの増減	+9	(今月の数値 86)
卸	前月からの増減	+4	(今月の数値 74)
小売等	前月からの増減	+1	(今月の数値 65)

③-ア-a 貴社の“今月”的主食用米の“在庫量”について、“先月と比較”するといかがですか。



③-ア-b 貴社の“今月”的主食用米の“在庫量”は、“前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の在庫量に関する見通しDI

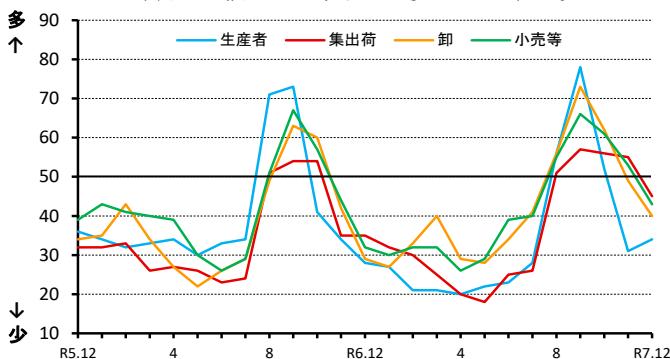
a. 今月との比較

生産者	前月からの増減	+3	(今月の数値 34)
集出荷	前月からの増減	-10	(今月の数値 45)
卸	前月からの増減	-9	(今月の数値 40)
小売等	前月からの増減	-10	(今月の数値 43)

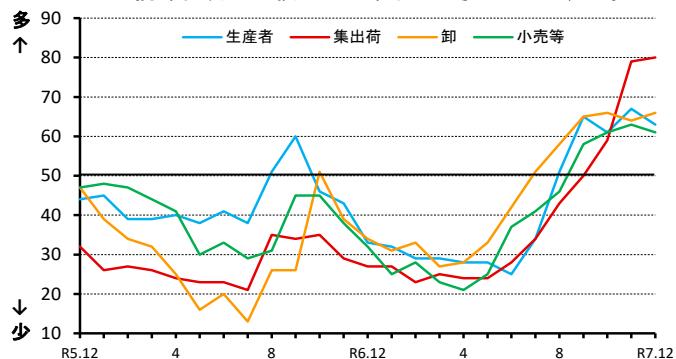
b. 前年同月との比較

生産者	前月からの増減	-4	(今月の数値 63)
集出荷	前月からの増減	+1	(今月の数値 80)
卸	前月からの増減	+2	(今月の数値 66)
小売等	前月からの増減	-2	(今月の数値 61)

③-イ-a 貴社の“来月”的主食用米の“在庫量”について、“今月と比較”してどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の“来月”的主食用米の“在庫量”について、“前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



《アンケート方法等》

- 調査期間：毎月1日から25日頃までの取引状況を踏まえて回答
- 調査方法：電子メールを利用したアンケート調査
- 調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の180客体
※ 米取引関係者の動向をより適切に反映したものとなるよう、令和5年4月にアンケート対象事業者の一部入替を行いました。
- 有効回答数：134客体
 - 生産者 25
 - 集出荷業者／団体 22
 - 卸売業者(主に主食用米) 26
 - 小売業者／中食・外食業者 47
 - その他 14

〔※「その他」は以下の業者です。
・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
・加工原材料米穀を使用し、加工食品(酒類を含む)を製造・販売する者〕
- 結果公表：翌月上旬(公表日時は半期ごとにホームページに掲載)

《利用上の注意》

- 本アンケート調査は、今後必要に応じて変更することもあり得ます。
- 表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断(評価)にそれぞれ点数(評価点)を与え、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ(量感)を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

【DIの算出例】

(問) 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の米価水準”について、”現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

本件に関する問い合わせ先

〒103-0001

東京都中央区日本橋小伝馬町15-15

公益社団法人米穀安定供給確保支援機構

情報部 TEL03-4334-2161(直通)